

プロレタリア

発行所・新世界通信 発行人・小川春夫
東京都足立区梅島2-38-11-303
TEL 03(3849)4953 FAX 03(3849)4938
郵便振替 00160-4-174947
E-mail ga3129@i.bekkoame.ne.jp
URL http://www.bekkoame.ne.jp/i/ga3129

翁長「撤回」断行し、8・11沖縄県民大会へ

安倍政権と自民・公明与党は7月28日、「8時間労働制打破」なる「働き方改革」関連法案を参院本会議でも強行採決して、成立させた。これを弾劾しつつ、来年4月からの順次実施の前に安倍政権を打倒し、設を中断させようとする沖縄と「本土」の民衆の闘いである。朝鮮半島南北が主導して年内に出される朝鮮戦争終戦宣言は、米海兵隊の撤退を可視化し、辺野古の闘いへの大きな国際支援となる。

「オール沖縄」による土砂投入反対8・11県民大会に連帯し、7~8月全国で辺野古新基地建設阻止・安倍打倒の大運動を巻き起こそう。そこが総裁三選目前の安倍の墓場となる！（編集部）

6・12米朝首脳会談の意義活かす沖縄

前途示す翁長平和宣言

6月23日「慰靈の日」、沖縄全戦没者追悼式で、翁長知事が平和宣言を述べた。その内容は、朝鮮半島情勢の好転を捉えた大変すばらしいものであった。

翁長知事は述べる。「昨今、東アジアをめぐる安全保障環境は、大きく変化しており、先日の、米朝首脳会談においても、朝鮮半島の非核化への取り組みや平和体制の構築について共同声明が発表された動きがはじまっています。」

「和平を求める大きな流れの中にも、20年以上も前に合意した辺野古への移設が普天間飛行場問題の唯一の解決策と言えるのでしようか。日本西政府は現行計画を見直すべきではないでしょうか。民意を顧みず工事が進められている辺野古新基地建設について、沖縄の基地負担軽減に逆行しているばかりで

はなく、アジアの緊張緩和の流れにも逆行していると言わざるを得ず、全く容認できるものではありません。」

「かつて沖縄は『万国津梁』の精神の下、アジアの国々との交易や交流を通じ、平和的共存共栄をかけており、日本の、米朝首脳会談においても、

朝鮮半島の非核化への取り組みや平和体制の構築について共同声明が発表されたなど緊張緩和に向かっており、先日の、米朝首脳会談においても、朝鮮半島の非核化への取り組みや平和体制の構築について共同声明が発表された動きがはじまっています。」

「そして、現在の沖縄は、アジアのダイナミズムを取り込むことによって、再び、アジアの国々の架橋としての役割を担うことが期待されています。」

この翁長知事の主張は、土砂投入が迫る辺野古としての沖縄の愚かさを余すところなく示している。また、米朝関係が緊迫し、日中関係も陥悪な時期に掲げられた「緩衝地帯としての沖縄」といふ考え方を、現在の情勢に見直すべきではないであります。

海を土砂で埋めるな！ 首都圏連絡会」の主催で、「どめるぞ！ 土砂投入6・9集会」が文京区民センターで開かれました。この土砂首都圏連絡会は、安倍たおせ！ 反戦闘会を含め多くの諸団体にて開催され、より積極的な沖縄像を、平和・共生の

辺野古土砂投入阻止！ 全国で行動開始

官邸・防衛省へ大行動を

6月9日、「辺野古の土砂投入を止めよう！」と題して、6月10日国会前、記者2面



▲ 安倍政権をぶつ倒せ！（6・10国会前、記事2面）

この土砂投入阻止決戦への流れの中、6月23日・沖縄「慰靈の日」に、東京では恒例の沖縄シンボジウムが専修大神田校舎で開かれた。主催者は沖縄文化講座呼びかけ実行委員会で、情況出版が後援。250名ほどで大教室は満員、講義の一環

「明治150年」に問う 沖縄と天皇制

この土砂投入阻止決戦への流れの中、6月23日・沖縄「慰靈の日」に、東京では恒例の沖縄シンボジウムが専修大神田校舎で開かれた。主催者は沖縄文化講座呼びかけ実行委員会で、情況出版が後援。250名ほどで大教室は満員、講義の一環

として専大の学生さんも参加した。この今年で6回目の沖縄シンボジウムは、『明治150年』に問う「沖縄と天皇制」をテーマとし、菅孝行さん（評論家・劇作家）と仲里効さん（映像批評）が問題提起した。

この今年で6回目の沖縄シンボジウムが専修大神田校舎で開かれた。主催者は沖縄文化講座呼びかけ実行委員会で、情況出版が後援。250名ほどで大教室は満員、講義の一環

の闘いの火がたが切られ、沖縄に行つてゲート前座り込みなどに参加すことだけが全てではない。安倍政権、防衛省の闘いは、安倍の9条改憲投票で、8月の米韓合同演習「已支フリーダムガード」においても強行採決して、成立させた。これを弾劾しつつ、来年4月からの順次実施の前に安倍政権を打倒し、設を中断させようとする沖縄と「本土」の民衆の闘いである。朝鮮半島南北が主導して年内に出される朝鮮戦争終戦宣言は、米海兵隊の撤退を可視化し、辺野古の闘いへの大きな国際支援となる。

「オール沖縄」による土砂投入反対8・11県民大会に連帯し、7~8月全国で辺野古新基地建設阻止・安倍打倒の大運動を巻き起こそう。そこが総裁三選目前の安倍の墓場となる！（編集部）

翁長「撤回」断行し、8・11沖縄県民大会へ

夏季特別カンパを訴える！

読者・友人の皆さん！ 憲発議の阻止も、韓国民衆の闘いに助けられた面で、安倍政権は延命を続けています。しかし、国会野党の非力と

が遺骨返還、一部の核実験場破壊を行ない、米国側が、8月の米韓合同演習「已支フリーダムガード」および向こう3カ月の米韓演習の中止を発表した。行動対行動で、段階的に平和体制構築へ向かう動きとなつて、北への経済制裁も、段階的に解除されて

いた。首都圏の人間にとつて、沖縄に行つてゲート前座り込みなどに参加することだけが全てではない。安倍政権、防衛省の闘いは、安倍の9条改憲投票で、8月の米韓合同演習「已支フリーダムガード」においても強行採決して、成立させた。これを弾劾しつつ、来年4月からの順次実施の前に安倍政権を打倒して、土砂投入を止めることだ。

翁長「撤回」断行し、8・11沖縄県民大会へ

前座り込みなどに参加すことだけが全てではない。安倍政権、防衛省の闘いは、安倍の9条改憲投票で、8月の米韓合同演習「已支フリーダムガード」においても強行採決して、成立させた。これを弾劾しつつ、来年4月からの順次実施の前に安倍政権を打倒して、土砂投入を止めることだ。

翁長「撤回」断行し、8・11沖縄県民大会へ

前座り込みなどに参加すことだけが全てではない。安倍政権、防衛省の闘いは、安倍の9条改憲投票で、8月の米韓合同演習「已支フリーダムガード」においても強行採決して、成立させた。これを弾

米空軍 CV22 の今夏・横田基地配備反対！ひろげよう

首都圏でもオスプレイ飛ばすな

本、富士演習場、木更津（航空自衛隊基地がオ

MV22が横田基地などへ度々飛来しているが、これに加えて、横田、厚

参政権実行委員会は、その構成団体などにより、「9条改憲NO！」政

治の腐敗と人権侵害を許さない！安倍政権の退陣を要求する6・10国会前の大行動」が行なわれた。

主催は、総がかり行動実行委員会。参加者は、主催者発表

で2万7千人。かなりの雨天にしては、そこそこの大行動」が行なわれた。

森友・加計では居直りを続け、朝鮮半島情勢では「蚊帳の外」に置かれる安倍

主催は、総がかり行動実行委員会。参加者は、主催者発表

で2万7千人。かなりの雨天にしては、そこそこの大行動」が行なわれた。

森友・加計では居直りを続け、朝鮮半島情勢では「蚊帳の外」に置かれる安倍

主催は、総がかり行動実行委員会。参加者は、主催者発表

で2万7千人。かなりの雨天にしては、そこそこの大行動」が行なわれた。

森友・加計では居直りを続け、朝鮮半島情勢では「蚊帳の外」に置かれる安倍

主催は、総がかり行動実行委員会。参加者は、主催者発表

で2万7千人。かなりの雨天にしては、そこそこの大行動」が行なわれた。

森友・加計では居直りを続け、朝鮮半島情勢では「蚊帳の外」に置かれる安倍

主催は、総がかり行動実行委員会。参加者は、主催者発表

で2万7千人。かなりの雨天にしては、そこそこの大行動」が行なわれた。

倒せ！ 改ざん居直り政権

るんだ、と思っている人は多い。そのためか、新

聞広告などで個人参加

者が多いためだ。

が、「退陣へ、もうひと

押し」とするには、10万

の結集が必要であつた。

国会正門前では、総が

かり行動実行委員会代表

の福山真劫さんが、「嘘

つき政治はただちに終わ

りに！」と訴えて集会開

始。

国会野党からは、立憲

民主党・福山哲郎幹事長、

共産・小池晃書記局長、

衆院議員、社民・吉川元

幹事長が連帯挨拶した。

が、「公文書改ざんなど

は、近代国家の崩壊で

す。腐った権力者を叩

き切るのが民主主義で

す！」と訴えた。続いて

安保関連法に反対する学

者の会・佐藤学さん、大

阪府豊中市議の木村真さ

ん、共謀罪NO！実行

委員会・佐藤学さん、大

阪府豊中市議の木村真

